



学校だより

横浜市立長津田小学校

6月号【第592号】

令和3年5月28日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/es/nagatuta-es/>



やさしさあふれる経験を重ねて



校長 岡 カズミ

5月のある雨の日、1年生が傘をたたんでいるのを手伝っている3年生の姿を見つけました。「えらいね。」と声をかけると、「自分も手伝ってもらったことがあるからね。」とかわいい笑顔で応えてくれました。その後学校の中を気を付けて見ていると、こういう光景をたくさん見かけるのです。

例えば、集団で登校してくるとき、班長は何度も後ろを振り返り歩く速さに気を付けながら、そして、副班長が一番後ろからみんなの様子を見ながら歩いています。1年生の荷物をそっといっしょに持ってあげている姿や下級生にあいさつをやさしく促す姿もみられます。

また、校舎の中で迷子になっている下級生へは「どこへ行くの？」と自然に声をかけたり、廊下を走っている人を見かけると「走ると危ないよ。」とやさしく注意をしたり……。1年生の掃除や給食を手伝う6年生の姿にもやさしさがあふれています。自分たちも小さかった時、きっとこんな風にやさしくしてもらった経験があるのだろうかと思います。



上級生や友達からやさしくしてもらった経験は、自分も誰かのためにやさしくしたいという思いになり、それを行動に移すにはどうしたらよいのかと考えるようになります。本校の子どもたちが、互いを認め合い、相手を思いやることの大切さを日々の学校生活の中で実践しようと努力できるのはこうした経験をたくさんしているからだと思っています。

これからもこんなやさしさあふれる経験をたくさん重ねていける長津田小学校でありたいと思います。



児童支援専任から

これから梅雨の時期を迎えます。廊下が滑りやすい状況になるので、「安全の為に校内は歩いて移動する」を子どもたちへ伝えていきます。お子さん同士の接触事故や廊下で滑っての転倒事故などを防止し、安全に過ごせるようにしていきます。

また、6月は教育懇談週間があります。教育懇談週間は、お子さんと担任が面談をし、学習や生活の中で感じていることや思っていることなどを話す時間です。一人ひとりのお子さんにていねいに寄り添いながら、充実した時間となるようにしていきます。

児童支援専任 戸祭 雄斗